環境経営レポート

活　動　期　間　：２０２４年８月１日～２０２５年７月３１日

発　　行　　日　：２０２５年１０月３０日

改　　定　　日　：２０２６年　２月１８日

目　次

Ⅰ．事業の概要

Ⅱ．推進体制

Ⅲ．環境経営方針

Ⅳ．環境経営目標（年度別）とその実績

Ⅴ．　環境経営実績とその評価及び次年度の取組内容

Ⅵ．環境経営計画の取組内容とその評価及び次年度の
取組内容

Ⅶ．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

Ⅷ．代表者による全体評価と見直しの結果

丸高産業運輸　株式会社

Ⅰ．事業の概要

１．事業所及び代表者　　遵守状況評価日：2025/10/30

事 業 所 名	丸高産業運輸　株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長　長縄　弘貴

２．所在地

本社・営業所	大分県大分市向原西１丁目７番３９号	TEL：０９７－５５２－１７６７ FAX：０９７－５５１－８６２５

３．環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	長縄　弘貴
ea21事務局	長縄　弘貴

４．事業内容

事業内容	一般貨物自動車運送事業（取得日：昭和45年6月9日　許可№.：福陸自第2075号）
	軽油販売

５．事業の規模

設立年月日	昭和４５年１０月２２日		
資　本　金	１５，０００千円		
従 業 員 数	２３名		
車両保有台数	◉大型牽引		５　台
	◉被牽引		６　台
	◉１３ｔ平車	低　床	８　台
		中低床	１　台
		高　床	台
	◉１３ｔウイング車	低　床	３　台
		高　床	２　台
	◉５ｔ平車	簡易クレ付	１　台
			台
	合　　計		２４　台

６．会計年度

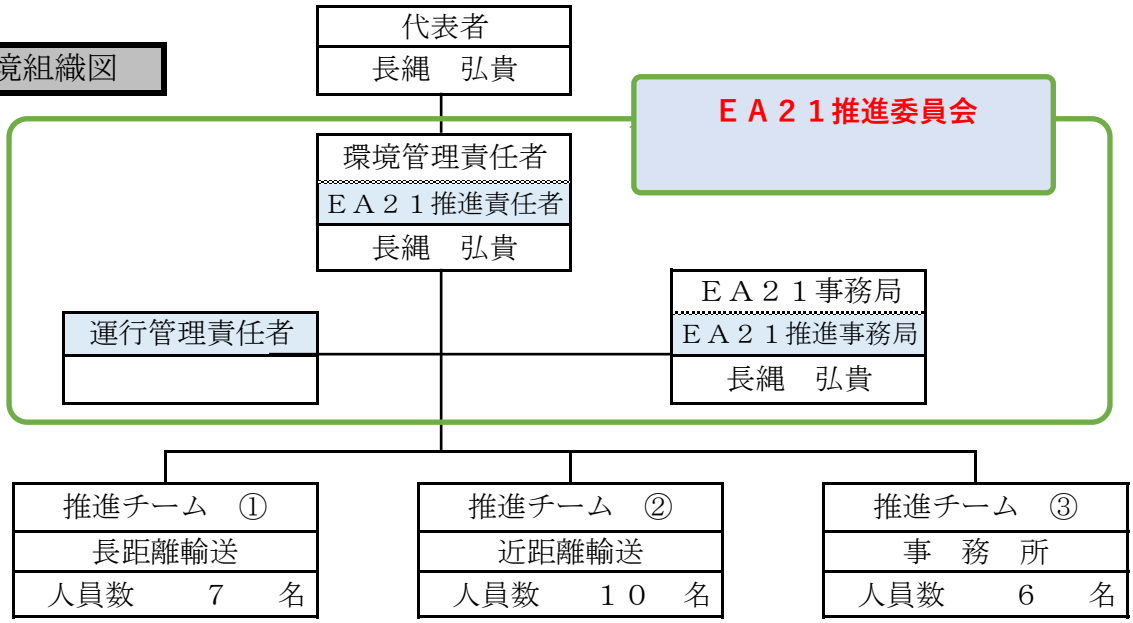
８月～７月

７．認証・登録範囲

全事業所及び全事業活動を対象とする

Ⅱ．推　進　体　制

環境組織図



役　　割

【代表者】

・環境経営に関する統括責任者
・環境経営における課題とチャンスを明確化する。
・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する
・環境管理責任者の任命
・環境経営方針を定める
・環境経営目標、環境経営活動計画、実施体制を承認する
・代表者による全体の評価と見直しを実施する

【環境管理責任者】

・環境管理システムの構築、運用、管理に関する責任者
・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する
・エコアクション２１推進委員会の責任者
・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認
・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認
・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認
・問題点の是正及び予防処置の承認
・環境経営レポートの確認

【ＥＡ２１事務局】

・環境管理責任者の補佐、エコアクション２１推進委員会の事務局
・環境経営関連文書、記録の管理
・環境経営に関する実績のとりまとめ
・外部環境コミュニケーションに関する窓口
・環境経営レポートの作成

【エコアクション２１推進委員会】

・環境経営目標、環境経営計画の企画/立案･･･事務局にて実施
・環境経営目標、環境経営計画の伝達･･･運行責任者にて実施
・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点のなどの報告･･･事務局にて実施
・環境経営に関する意見交換

【全従業員】

・自主的、積極的に環境経営活動に参加する

Ⅲ. 環　境　経　営　方　針

（基本理念）

当社は創業以来、安全第一の精神に徹し、顧客に安心して業務依頼していただける企業としてやってまいりました。

環境に於いては、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用を推進します。そのために、貨物の輸送活動における環境負荷の低減や、環境に有益な事業活動を目指し、会社一丸となって自主的・積極的に環境への取組みを推進いたします。

（行動指針）

１．当社は、次の環境課題に取組みます。

①車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素排出量の削減

②環境に配慮した輸送活動の推進

③電力消費による二酸化炭素排出量の削減

④ＬＰＧ消費による二酸化炭素排出量の削減

⑤水使用量の削減

⑥廃棄物の減量、再使用の促進

⑦グリーン購入の推進

⑧社会貢献活動への参加

これらについて環境経営目標・環境経営活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規制や、環境への取決め事項を遵守します。

制　定　日　：　２０１５年　７月１日
改　定　日　：　２０２２年１２月５日

丸高産業運輸　株式会社
代表取締役社長　長縄　弘貴

Ⅳ．環境経営目標とその実績

基準年度：２０２０年度及び２０２２年度を基準とする。

目標年度：２０２３（令和５）年度～２０２５（令和７）年度　　遵守状況評価日：2025/10/30

	2023年度	2024年度	2025年度
	基準年度比▲２％	基準年度比▲３％	基準年度比▲４％

方針番号	選択課題	基準年度 2020/22年度 実績	2023年度 実績	2024年度 目　標	2024年度 実績	2025年度 目　標
1	二酸化炭素排出量削減 単位：ｔ－ＣＯ２	1,941	1,814	1,883	1,176	1,863
１－１	電力消費量削減 単位：ＫＷｈ	10,962	10,750	10,633	11,294	10,524
１－２	ガソリン消費量削減 単位：ℓ	3,335	2,863	3,235	4,042	3,202
１－３	軽油消費量削減 単位：ℓ	747,127	698,601	724,713	450,046	717,242
１－４	ＬＰガス使用量の削減 単位：kg	36.70	35.60	35.60	22.77	35.23
2	水使用量の削減 単位：m^3	394	222.5	382	304	378
3	廃棄物の削減と 再資源化の推進	タイヤの消費量の把握し、再資源化を推進				
4	グリーン購入の推進	大分市内だけを走行する車両は、再生タイヤを利用。				
5	社会貢献への参加	周辺道路の清掃及び草刈り等の実施 養護施設への支援（花壇にチューリップを植える）				

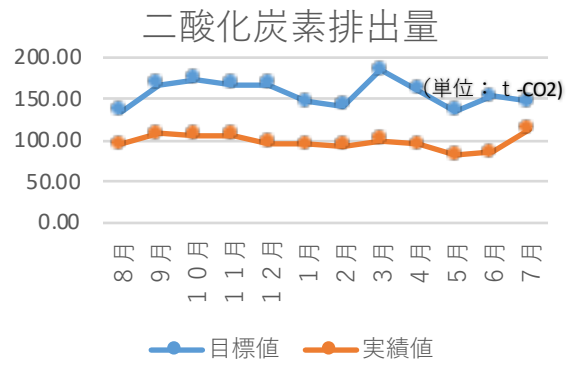
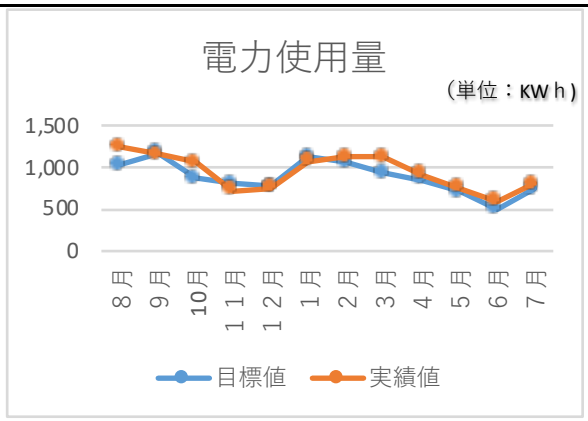
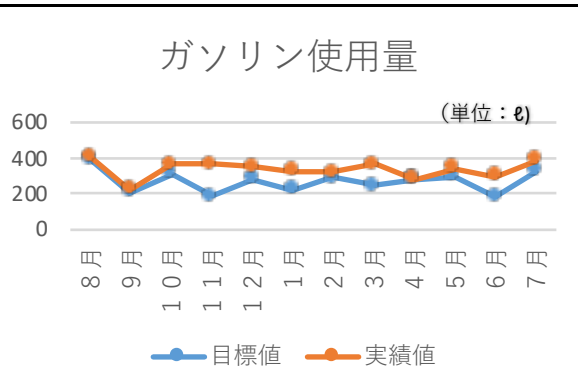
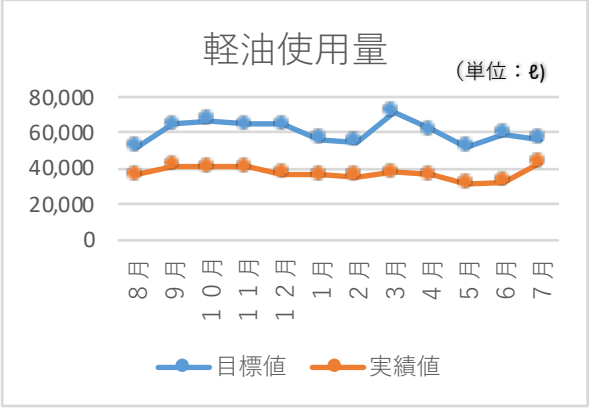
※　働き方改革における２０２４年問題で、ドライバーの労働時間が短縮されました。
そのためフェリーを利用しない場合の走行可能距離は、物理的に大幅に短縮します。
燃料高騰の中、持続可能な環境経営を目指していく。

モーダルシフトによる軽油使用量削減量　１３０，４００　リットル/年　　（6p参照）

Ⅴ．環境経営実績とその評価及び次年度の取組内容

２０２４～２５年度　環境取組実績（令和６年８月～令和７年７月）

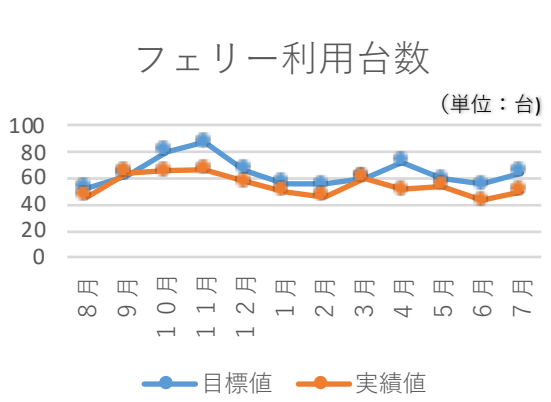
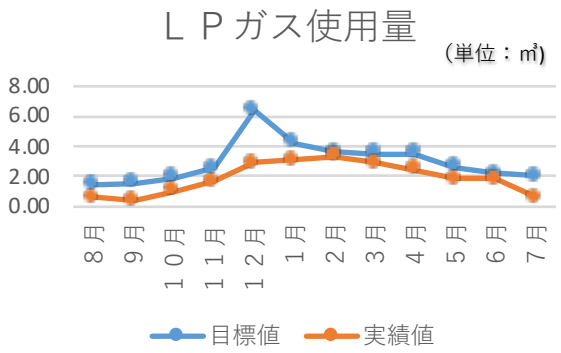
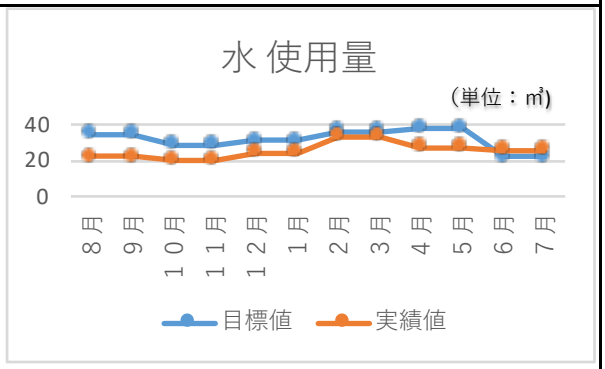
達成状況評価：◎目標達成　△目標未達で基準値達成　×目標未達で基準値未達

取組内容	指標の区　分	指標の値（年　計） 値	（単位）	達成状況達成率（対：目標）	月別推移（比較）表
1．二酸化炭素 排出量削減	基準値	1,941	t-CO2	◎	
	目標値	1,883			
	実績値	1,176		**160.2%**	
結果の評価・考察　今後の取組					
＊輸送量は回復しているが、働き方改革のために労働時間が制限されている。また、定年退職者もいて、トラックの稼働が前年を下回っている。					
2．電力 使用量の削減	基準値	10,962	KWh	×	
	目標値	10,633			
	実績値	11,294		**94.1%**	
結果の評価・考察　今後の取組					
＊温暖化に伴い、４月から１０月までクーラーを使用する時間が急増。					
3．ガソリン 使用量の削減	基準値	3,335		×	
	目標値	3,235			
	実績値	4,042		**80.0%**	
結果の評価・考察　今後の取組					
＊燃料高騰のため、営業 ・事務の社員の燃料代を全て会社負担としたため。					
4．軽　油 使用量の削減	基準値	747,127	ℓ	◎	
	目標値	724,713			
	実績値	450,046		**161.0%**	
結果の評価・考察　今後の取組					
＊輸送量が回復してきたが、人手不足と2024年問題のためフェリーの往復利用が増加。 ＊定年や病欠の高齢社員が増えたため長距離トラックの台数が減り、走行距離が減少。					

Ⅴ．環境経営実績とその評価及び次年度の取組内容

２０２４年度　環境経営取組実績（令和６年８月～令和７年８月）

達成状況評価：◎目標達成　△目標未達で基準値達成　×目標未達で基準値未達

取組内容	指標の区　分	指標の値（年　計） 値	（単位）	達成状況 達成率（対：目標）	月別推移（比較）表
＊モーダルシフト推進効果（参考） ・大分⇔神戸間のフェリー利用 ①走行距離　640km/片道 ②燃料消費率　3.20km/ℓ当り ③フェリー利用台数　768台/2023年度実績 652台/2024年度実績 **軽油使用量削減効果**　**１３０，４００　ℓ/年** **ＣＯ２排出量削減効果**　**３３６．４ｔ-CO2/年**					
５．ＬＰガス使用量の削減	基準値	36.70	kg	◎	
	目標値	35.60			
	実績値	22.77		**156.3%**	
結果の評価・考察　今後の取組 ＊感染症対策の熱湯での消毒等の減少。 今後も意識を持って取組をする。					
６．水使用量の削減	基準値	394	㎥	◎	
	目標値	382			
	実績値	304		**125.7%**	
結果の評価・考察　今後の取組 ＊感染症対策のため手洗い、清掃を推奨。 ＊車両台数減少のため、洗車回数が減少。					
７．廃棄物の削減と再資源化の推進					＊２０２２年度のタイヤ消費量　１３７本 ＊２０２３年度のタイヤ消費量　　９０本 ＊２０２４年度のタイヤ消費量　１１４本
８．グリーン購入の推進					＊大分市内走行のみの車両には、できるだけ再生タイヤを使用。 （今年度の購入は２０本。）
９．社会貢献への参加					＊運送組合で、養護施設での花壇整備。 ＊自社周囲の清掃：随時実施 ＊災害時の募金活動

Ⅵ. 環境経営計画の取組み内容とその評価及び次年度の取組み内容

１．環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容　　遵守状況評価日：2025/10/30

数値目標：〇＝達成　　×＝未達成　　評価者：　環境管理責任者

◎＝よくできた　〇＝まあできた　△＝あまりできなかった　×＝全くできなかった

取　組　計　画	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み内容
電力消費量の削減		
数　　値　　目　　標	×	努力はしているが、４月から１１月くらいまで、冷房の使用時間が急上昇。 また、猛暑のため、熱中症対策としてエアコンの連続運転が多かった。
・不必要箇所の照明及び空調機の消灯	◎	
・冷暖房温度室温の設定（夏季２８℃・冬季２０℃）	△	
・ＯＡ機器の退社時の電源ＯＦＦ	◎	
ガソリン消費量の削減		
数　　値　　目　　標	×	会議や出張なども増えている。ガソリン高騰の中、営業時だけでなく事務職のガソリン代の会社負担も増やした。引き続きエコ運転を推進する。
・駐車時のエンジン停止の推進	〇	
・エコ運転の推進（急発進・急停車・急加速の防止）	〇	
軽油消費量の削減		
＊貯蔵施設（地下タンク）の定期検査　2025.6.7 届出済	◎	フェリーと高速道路の利用促進は継続。長距離トラックが、定年退職のため減少した。輸送量が回復する中、２０２４年問題の対応のためフェリー往復利用が増えた。
・駐車時のエンジン停止の推進	〇	
・エコ運転の推進（急発進・急停車・急加速の防止）	〇	
・モーダルシフト（フェリー利用）の推進	◎	
・高速道路の利用推進	◎	
ＬＰガス使用量の削減		
数　　値　　目　　標	◎	感染症対策は続けている。使用量は減少傾向。
・不必要な温水器の使用防止	◎	
水使用量の削減		
数　　値　　目　　標	◎	実際に運行している車輌台数の減少に伴って、洗車台数の減少。熱中症対策のためのペットボトルの配布を行った。
・洗車の水使用削減	〇	
・温水器等の適量な給湯等	〇	
・出しっ放し防止	〇	
廃棄物排出量削減・再利用		
・ゴミの分別の徹底	〇	コピー用紙の再利用は徹底している。 廃タイヤを再生タイヤとしてリサイクルできるよう努力する。
・コピー用紙の裏紙使用の推進	〇	
・タイヤの再資源化の推進	△	
グリーン購入の推進		
・コピー用紙等のエコマーク商品の購入	◎	再生タイヤの購入を増やした。取組項目については今後も強化。
・省エネ対策品の積極購入　再生タイヤの購入	〇	
社会貢献への参加		
・周辺道路の清掃実施２回/年･･･（春・秋）	〇	継続する。
・養護施設への支援（チューリップの植樹）	◎	

Ⅶ. 環境関連法規の違反・訴訟の有無

遵守状況評価日：2025/10/30

１．主な適用法令の概要と遵守評価結果　　評価者：　環境管理責任者

適用法令等	該　当　す　る　規　制	遵　守　項　目	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理（処理業者への委託）	委託契約書	○
	産業廃棄物監理票（マニフェスト）の交付	５年間保存	○
	管理票交付状況の県知事への年度報告	管理票交付状況報告書	○
道路運送車両法	所有車両の法定点検（車検）	車両分解整備記録簿	○
	所有車両の法定点検（３ヶ月点検）	整備記録簿	○
	所有車両の日常点検	運転日報の点検記録	○
消防法	貯蔵施設の点検	点検記録	○
	危険物取扱者の届出	届出	○
	地下貯蔵タンクの内面ライニング	施設変更届出	○
貨物自動車運送事業法	一般貨物自動車運送事業の運用管理	運用管理全般	○
道路交通法	所有車両の運行状況	運行管理全般	○
自動車リサイクル法	廃車車両の適正処理	自動車リサイクルシステム	－
自動車NOx・PM法	大気汚染の防止	尿素SCR装置装備車	○
改正フロン法	業務エアコンの自主点検（毎３ヶ月）	点検記録	○
	業務エアコンの定期点検（毎３年）	点検記録	○

＊貯蔵施設（地下タンク）の定期検査　2025.6.7　大分市及び消防署へ届出済

２．環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

・環境関連法規への違反行為はありません。
・関係当局からの違反等の指摘は過去３年間ありません。
・苦情等もありません。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し

評価対象の期間	２０２４年８月１日～２０２５年７月３１日

１．代表者への報告と代表者からのコメント

No.	報　告　項　目	報　告　内　容　・　所　見	代表者のコメント
1	環境法規等の遵守状況確認結果	特に問題はなかった	問題なし
2	環境経営目標の達成状況	目標達成ができた。運賃交渉により、半分以上の荷主から運賃を上げていただいた。	フェリーや高速道路の利用を継続しているが、経営的に厳しい。
3	環境経営計画の実施状況	推進者を社長が兼ね活動は継続している。	管理者を育成中。
4	問題点の是正、予防の状況	人手不足と運転手の高齢化。	２４歳の運転手が入社。
5	外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情等は１件もなかった	問題なし
6	環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	給油所の燃料漏れ対策。年1回程度（前回実施：2025年6月7日）の実施を継続。ウエス・中和剤等の保管管理に注意する。	問題なし
7	その他		

１．・苦情等もありません。

	指示項目	変　更　の　必　要　性　と　指　示　内　容	
1	環境経営 方 針	変更の必要性	無
		指 示 事 項	継続する
2	環境経営 目 標	変更の必要性	無
		指 示 事 項	継続する
3	環境経営 活動計画	変更の必要性	無
		指 示 事 項	継続する（事務局の人員確保を図る）
4	実施体制	変更の必要性	経済的有効性を検討する必要性あり。
		指 示 事 項	
5	そ　の　他	変更の必要性	無
		指 示 事 項	ＣＯ２の削減は必ず実施しなければならないことであり、今後も積極的な取り組みを行う